



就職環境の変化

2025年3月卒の就職活動は、3年次の夏や秋冬に実施したインターンシップ、1DAY仕事体験等の参加学生に対して、早期選考につなげる動きが一層加速し、「早期化」が進む一方で、「長期化」も進んだといえます。また、職務を限定した専門職を採用する「ジョブ型採用」を取り入れる企業も徐々に増えつつあり、採用の「多様化」も進む傾向にあります。また、新卒初任給を引き上げる動きなども多くみられるようになりましたが、俗に「オワハラ」と言われる、企業からの「就活終われハラスメント」なども散見され、人材獲得のために企業側が苦慮している印象もあり、学生有利の売り手市場であると言えます。とはいえ、学生は早いうちからインターンシップの早期選考への対応、希望業界や企業を早期から絞り込まなければならないなど、戸惑いながらの就活を強いられるケースも見受けられました。

2026年3月卒の採用選考時期も今年度と同様に政府から経済団体へ要請されていますが、採用選考の多様化や国内外の経済、政治の変動による環境の変化の可能性は高まっています。そうしたなか、エージェント型サービスやスカウト型サービスを利用する学生も増えています。プロフィール情報を登録しておくことで、エージェントや企業から声がかかるこうしたサービスは、効率よく就職を進めたい学生にはそうした側面のメリットもある一方で、受け身になってしまう可能性もあり、利用にあたっては注意が必要です。こうした変化に学生が戸惑い、不利益を被らないように本学としても十分に対策をしていきます。また、昨年度より在学生と卒業生をつなぐサービスツールである『ビズリーチ・キャンパス』も利用できるようになり、サービスの利用も進んでいるほか、「都市大キャリアNavi」という本学内のキャリア支援システムにおけるOBOG検索機能が充実し、OBOGとの接点の形成も進んでいます。保証人の皆様からも学生への直接的、また情報提供などの間接的なご支援も一層賜りますようお願いいたします。

学生が就職する力を高めるためには、「(基礎力+専門力)×職業的態度×就職活動力」を意識することが重要であると本学のキャリア関連の担当者で共有しています。



低学年時にはキャリアの意識を高める内容の授業やガイダンスを行い、「基礎力」を高める授業や課外活動への取り組みの重要性、インターンシップへの積極的な参加の効果を伝えます。また、学年が上がってからは全員が研究室に配属される本学の強みを生かし「専門力」を高めることを意識するように伝えています。就職活動を迎える時期には、就職指導の専門家が設計した面接や応募書類作成、筆記試験対策などの「就職活動力」を高めるプログラムを多数開催しています。これらのプログラムに積極的に参加することで総合的に「就職力」が高まり良い結果につながっているといえます。

就職力向上サイクル

理想の就職を実現するには、まずは今の自分と将来の自分をしっかり考え、そのために、社会の動きや職業について知り、必要な力を着実に磨くことが大切です。本学では内定獲得に向け確かな就職力を高めるため、体系的に学んだことを振り返るTCU FORCEやキャリア支援プログラムなど、様々な取り組みを実施しています。



本学の支援体制

従来の就職支援業務の枠を超えて、キャリア全般に関わる幅広く充実したサービスを提供する「キャリア支援課」を両キャンパスに設置しています。キャリア支援課には専門の相談員が常駐し、就職の相談のみならず、職業選択や進学など、将来の進路についての確かなアドバイスを受けることができます。常駐しているスタッフの多くがキャリアカウンセラーの有資格者であり、キャリアに関することはどんなことでも安心して相談をする環境ができており、卒業生や先輩学生による密度の濃い情報はじめ、各社の求人、公務員、Uターン、就職活動支援サービス会社の各種資料なども豊富に提供しています。

各学科では就職担当教員がキャリア支援課と連携して強力に学生をバックアップし、学科の強みや特徴を活かして、一人ひとりのニーズにあった支援を展開しています。また、就職支援行事を数多く実施し、徹底してキャリアについて考える機会をつくっています。更に本学の前身である武蔵工業大学時代からの強みである「社会で活躍する卒業生」のご協力を得て、有名企業400社を含む各社のOBOG支援会や校友会主催の進路相談会のほか、学部・学科ごとに企業・業界セミナーや相談会を実施するなど、充実した支援体制を整えています。

2024年度の状況

2025年3月卒対象、文部科学省発表の2024年10月時点での国公立大学の平均内定率は「72.9%」となりました。

これに対し、学生からの報告を基にした本学の10月時点の内定率は、学部生で76.4%、大学院生で77.6%と、平均を上回る数値となっております。

本学としましては、まだ活動を継続している学生に対しての支援は最優先と認識し、納得のいく進路決定につながるよう、一層の就職活動の支援を実施してまいります。これからの時期、「モチベーションの維持」「活動を続ける姿勢」が重要なポイントとなります。

最後に

学生の進路に関する意識が多様化し、変化の大きな就職環境に対応すべく、今後ますますキャリア支援業務に注力してまいりますので、引き続き保証人の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

